

スクールトピックス

希望を胸に 入学・入園

町内の小・中・高校やこども園では、4月8日と9日に入学式・入園式が行われ、新入生たちが希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。



呼名に元気な声で返事する1年生(翁島小学校)

小学校生活をスタート

町内6小学校の入学式は4月8日に行われ、1年生91人が小学校生活をスタートさせました。

このうち翁島小学校では11人が入学。呼名の後、永島慶和校長が「素直な気持ちを持ってください。そして学校を大好きになりましょう」と式辞を述べ、新入生代表の山内蒼翔さんに教科書を手渡しました。在校生を代表して6年生の渡部こみさんが「小学校は楽しいことがたくさんあります。明日から一緒に登校しましょう」と歓迎の言葉を述べました。

伝統を受け継ぐ一歩踏み出す

猪苗代高校の入学式は4月9日に行われ、普通科26人、観光ビジネス科13人の合わせて39人が伝統を受け継ぐ一歩を踏み出しました。

式では、佐々木理夫校長が全員の入学を許可し「歴史と伝統を受け継ぎ、会津地方や福島県に寄与する人材になってください」と式辞。新入生を代表し、普通科の村上拓慎さんが「先生や先輩に助言をいただきながら日々精進します」と誓いの言葉を述べました。



伝統を受け継ぐ一歩を踏み出した新入生(猪苗代高校)

志を胸に新たな一歩

町内3中学校の入学式は4月8日に行われ、新入生100人が志を胸に新たな一歩を踏み出しました。

20人が入学した東中学校では、押部秀隆校長が「疑問や好奇心を持ち、これからの社会を生き抜く力を身に付けてください」と式辞。在校生を代表して鈴木舞さんが歓迎の言葉を述べました。新入生代表の佐藤はるかさんが「小学校で学んだことを忘れずに、中学校では日々の積み重ねを大切に責任ある生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。



期待を胸に入学式に出席する新入生(東中学校)

さくらこども園入園式

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われました。

このうちさくらこども園では、乳児部と幼児部の合わせて31人が入園しました。式では、新入園児たちが保護者らに拍手で迎えられ入場。新入園児たちは、自分の名前が呼ばれると大きな声で返事をしました。鈴木敏園長が「こども園は楽しいところです。先生のお話をよく聞いて、毎日元気にこども園に来てください」と式辞を述べました。



緊張した表情で入園式に臨む新入園児(さくらこども園)

笑顔でこんにちは



家族みんなで「ハイ、チーズ」

由愛ちゃんの名前には「みんなに愛される人になってほしい」というパパとママの願いが込められています。

森田 由愛 ちゃん

平成29年2月生まれ
～山潟

圭一さん・里奈さんご夫妻の三女

由愛ちゃんは、姉の明依さん、麻央ちゃんが大好き。姉妹で家にいるときは、いつも一緒に遊んでいます。最近では、由愛ちゃんは人形遊びに夢中です。人形を赤ちゃんと見立てて、姉妹3人で仲良くこども園ごっこをしています。

普段は、こども園に通っている由愛ちゃん。こども園では、友だちと一緒に体をたくさん動かして遊んでいます。パパの圭一さんとママの里奈さんが休みの日には、家族みんなで出かけて外で遊ぶことが多いそうです。

里奈さんは「元気にたくましく育ってほしいです」と笑顔で話します。圭一さんは「明るく元気で、かわいい子に育ってほしいです」と話し、由愛ちゃんを優しく抱き寄せました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(02)2111

ホットニュース

東中学校の生徒が観音寺川桜まつりでボランティア活動に取り組む



草木の叩き染めの見本を作成した東中学校3年生の安部拓海さん



ハーバリウムづくり体験を通じて来場者のおもてなしをする園井さん(左から2人目)ら

猪苗代青年会議所(江花脩理事長)は4月22日、観音寺川桜まつりの会場内でハーバリウムづくりと草花の叩き染めの無料体験コーナーを設置して、花見客らをおもてなししました。

同会議所では、中学生に地元の良いところを知ってもらい、自分の住む町を大切にすることを養ってもらおうと中学生ボランティアを募集。東中学校の生徒18人が参加しました。

参加した生徒たちは、同会議所メンバーにハーバリウムづくりと草花の叩き染めのやり方などを教わった後、今度は講師役となり、観音寺川の桜並木を訪れた花見客らにそれぞれの体験内容を丁寧に説明したり、手本を見せたりしておもてなしの心を学びました。東中学校2年生の園井結以さんは「今回初めてボランティア活動に参加しました。お客さんに喜んでもらうことができうれしいです」と感想を話しました。